

徳本さんのProfile

- 20歳** 埼玉県の短期大学歯科衛生士課卒業後、東京の歯科医院に就職。プロとしての歯科医療、歯科衛生士の意識と倫理観を学ぶ
- 23歳** 結婚後、神奈川県歯科医院転職するも、ご主人の転勤にて退職。子育てに専任する
- 33歳** 8年のブランクを経て歯科衛生士に復帰。愛知県で障害者診療、保健センター、開業医で勤務
- 40歳** 熊谷崇先生との出会い。先生の講演を聞き、大きな感動とショックを受ける。歯科衛生士としての自分を見つめなおし予防に取り組み始め知識と技術を必死で学び始める
- 48歳** 愛知県の医院に勤務するも、再びご主人の転勤により退職。熊谷先生に直談判し秋田県酒田市で1カ月の研修を受ける。神奈川県歯科医院に勤務
- 49歳** Oral Physician 衛生士部会「ハイジア」発足。ハイジア会長として何をすべきか、熊谷先生の下で学ぶため、山形県酒田市で3年間、単身赴任で勤務をスタート。徳本さんの新たな挑戦が始まる



熊谷先生との出会いが
全てを変えた！

Enjoy DH's
working Style

オーラルフィジシャン衛生士部会「ハイジア」会長の徳本さんは衛生士歴30年の大ベテラン。歯科衛生士としてもさまざまな経験を積み上げてきました。そんな徳本さんの人生を大きく変える出会いがあったのは1997年のこと。日本の予防歯科の第一人者である熊谷先生の講演に足を運び、その内容に打ちのめされます。大きな感動と同時に大きな衝撃も受けたのです。「医療従事者は学び続ける事」と引き換えにライセンスを持ち入れたのだから、学び続ける気持ちは失ったとき、ライセンスを返す」という熊谷先生の言葉に、

いかに自分が勉強を続けていなかったのかを思い知らされ、「いつか熊谷先生に認めてもらえる衛生士になろう！」という新しい目標に向かって「予防歯科」の勉強を必死で始めたのです。そして2006年、紆余曲折あったものの、持ち前の明るさと行動力でのりこえ、熊谷先生の提唱されるオーラルフィジシャンの歯科衛生士部会「ハイジア」を発足させることになったのです。

神奈川県から山形へ単身赴任 徳本さんの新たな挑戦

「予防歯科」を全ての歯科診療の根底にあると考えるオーラルフィジシャンにとって歯科衛生士は不可欠な存在であり、まさに車輪の両輪です。

徳本さんの新たな挑戦 日吉歯科での勤務

「仕事を始めたら勉強が終わるのではなく、仕事をしながら勉強をすることが大切だということ。そして長期症例を持つという事を観点にいれて、長く務めたいける医院に就職すること。長く続けるほど仕事が深まり、新しい発見があるはずだから簡単には歯科衛生士の仕事を辞めないでほしい」徳本さんからの熱いメッセージです。

昨年、ハイジアの活動について悩みが生じたという徳本さん。熊谷先生に相談すると「ハイジアでは500人の担当患者とデータを持つ歯科衛生士になる事を目標としているのではないかと。会長として皆と同じ苦勞をし、目標を達成できることを会員に見せるべきではないか？」日吉歯科（院長・熊谷先生）で実践してみようか？」

「確かに歯科業界を危ぶむ声も聞かえてきますが、歯科診療を受ける患者様の意識が欧米並みに変われば社会のためになり、患者様が増え逆にならぬように、患者様の健康の意識を変えていくのはほかならぬ歯科衛生士の仕事なのです」



セミナー今後の予定はこちら

- Oral Physician 歯科衛生士部会「ハイジア」は、セミナーなど精力的活動しています。
- 1 ハイジア会員専用サイトで日吉医院体験記の配信
 - 2 出張SRPセミナー
 - 3 症例検討会 など、詳しい内容についてはお問い合わせを
- 下記HPの入会案内よりお申込み下さい。歯科衛生士学校に在学中の方の入会も可能になりました！
- <http://www.hygeia-dh.net> <http://www.sat-iso.net>

DHを引っ張っていく
スペシャリスト

Specialist

DHを引っ張っていくスペシャリスト

File No.04

徳本美佐子さん

Oral Physician 歯科衛生士部会Hygeia・会長

自らも進化し続けることで 質の高いDHを育てる！

医師と衛生士は車輪の両輪。
予防における質の高い衛生士
を育てるため、自分自身を常
に成長させているオピニオン
リーダー。

Report!

「オーラルフィジシャン チームミーティング」の 模様を潜入ルポ！ (山形県酒田市)

7月4、5、6日の3日間にわたり、山形県酒田市の東北公益文化大学大講堂でオーラルフィジシャン チームミーティングが開催されました。オーラルフィジシャン認定歯科医と歯科衛生士、約500名が全国から集まり、会場は明日の歯科業界を切り開こうとする熱気に包まれました。初日はスウェーデン・マルメ大学教授のダン・エリクソン先生による講演が終日行なわれ、2日目は現役の歯科衛生士の発表と朝日新聞編集委員、田辺功氏の講演が行なわれました。最終日は参加医院による発表とディスカッションという非常に中身の濃いチームミーティングとなりました。



4場内からの活発な意見、質問に答えるハイジア会長 徳本さん 5最終日。各医院のMTMを診療に取り入れる取り組みについての発表とディスカッション（上野歯科医院・山崎さんの発表） 62日目。「MTMにおける歯科衛生士の役割」と題して歯科衛生士の視点での現状報告とディスカッション

1初日。スウェーデン、マルメ大学カリオロジー科教授、ダン・エリクソン先生が終日講演 2熊谷先生の挨拶で第3回オーラルフィジシャンチームミーティングが幕をあげた 3全国から集まったオーラルフィジシャン歯科医師と歯科衛生士、その数500名で会場は埋め尽くされました

チームミーティング体験者の DHさんに聞いてみました！

ハイジアの会員であり、歯科衛生士としても凄腕のキャリアを持つお二人に、自身の夢と読者の皆様へのメッセージをいただきました！



坪山郁世さん

誠涼会 レミントン歯科 (東京都) 副院長
衛生士歴14年
現在の医院に歯科衛生士が生涯、勤められるよう託児所を作ることで、世界の衛生士とディスカッションしていくことが夢。「衛生士は一人の患者様の人生に深く係わる凄腕の仕事。いろいろな人の出合いの中で自分を成長できる仕事です」



竹澤あゆみさん

丸の内歯科医院 (富山県) 衛生士歴18年
「予防がメインなので患者様との長く深いお付き合いになる。寝たきりになられた患者様から引き続きメンテナンスをお願いされ、2年間通い、先日その患者様の最後を看取ってさしあげる事ができた」と語る竹澤さん。80歳まで現役DHでいることが夢。